



議会だより

平成26年
8月20日発行

No.76

●発行／宮津市議会
●編集／議会情報化委員会
TEL 0772-45-1639
<http://www.city.miyazu.kyoto.jp/www/inside/gikai/>

● 議長交際費	● 政務活動費	● 議会報告会	● 一般質問	● 会派構成と抱負	● 6月定例会のうごき	● 市議会の新しい構成
13	12	11	7	4	3	2

遠泳大会

栗田小学校



府中小学校



表紙写真を募集します！

くわしくは裏表紙をご覧ください。

宮津市議会の新しい構成

正副議長

議長 松浦 登美義
副議長 嶋田 茂雄



就任のごあいさつ

宮津市議会議長 松浦 登美義

この度、第33代宮津市議会議長に就任いたしました松浦登美義でございます。大変光栄でありますとともにその責任の重さを痛感しているところであり、市民の皆様の付託を担える議会へとスピード感と改革の流れを推し進めてまいります。

平成23年9月に制定いたしました宮津市議会基本条例を基に二元代表制が持つ権能を最大限に活用し、市民の思いが市政に反映される最良の意志決定を導くよう努めてまいりる所存でございます。

当地域を取り巻く環境は、海の京都構想など好条件の時代に入りました。そうした中、宮津市の課題を着実に発展へと転換できるよう取り組む所存であります。闇が深ければ深いほど暁は近いと申します。いよいよ宮津市の夜明け、太陽が登りました。市民の皆様『笑顔がひろがるまち』を実現してまいります。

市民の皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

6月22日に行われた宮津市議会議員選挙で、16名の市議会議員が選出されました。各議員が所属する会派の構成も決まり、7月18日に改選後の初議会が開かれ、正副議長の選挙、常任委員会の構成並びに正副委員長長の選任、議会運営委員の選任などを行いました。

今期、委員会条例の見直しにより新たに予算決算委員会を設置しました。また、議会情報化等特別委員会を常任委員会とし議会情報化委員会と改めました。新しい議会の構成は、次のとおりです。

正副委員長

議会運営委員会

委員長 松本 隆
副委員長 河原末彦

予算決算委員会

委員長 北仲 篤
副委員長 小林 宣明

常任委員会

議会情報化委員会

委員長 谷口 喜弘
副委員長 城崎 雅文

総務文教委員会

委員長 長林 三代
副委員長 星野 和彦

産業建設福祉委員会

委員長 坂根 栄六
副委員長 福井 康喜

議会の構成

常任委員会				議会運営委員会	委員会名
議会情報化	予算決算	産業建設福祉	総務文教	議会運営委員会	委員会名
◎谷口 喜弘 中島 武文 松本 隆 ◇城崎 雅文 宇都宮 綾 北仲 篤	◎北仲 篤 中島 武文 星野 和彦 宇都宮 綾 嶋田 茂雄 徳本 良孝 谷口 喜弘 河原 末彦 ◇小林 宣明 城崎 雅文 長林 三代 福井 康喜 坂根 栄六 安達 稔 松本 隆	◎坂根 栄六 城崎 雅文 安達 稔 松本 隆 ◇福井 康喜 嶋田 茂雄 谷口 喜弘 河原 末彦	◎長林 三代 中島 武文 小林 宣明 松浦登美義 ◇星野 和彦 宇都宮 綾 徳本 良孝 北仲 篤	◎松本 隆 長林 三代 小林 宣明 ◇河原 末彦 坂根 栄六 徳本 良孝	委員長 ◇副委員長 (◎委員長◇副委員長)
・議会広報の編集・発行及び調査・研究に関する事項並びに議会報告会に関する事項	・予算及び決算の議案等に関する事項	・健康福祉室、産業振興室、建設室及び農業委員会の所管に属する事項	・企画総務室、財務室、市民室、出納管理室及び教育委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項	・本会議の運営について ・次期議会の日程について	所管事項

6月定例会の しごき

6月定例会は、市議会議員選挙（6月22日投票）との関係で会期が5月26日から6月9日までの15日間となりました。人事案件1件（人権擁護委員の推薦）、補正予算1件（土地建物造成事業特別会計）、専決処分3件が提案され、いずれも原案どおり可決・承認し閉会しました。

なお、今議会の傍聴者は16名でした。

7月臨時会の しごき

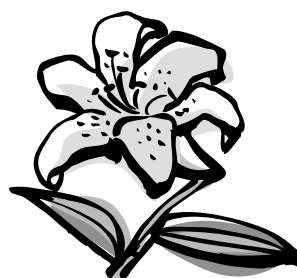
7月の臨時議会は18日、1日間の会期で開かれました。正副議長の選挙、常任委員会の構成並びに正副委員長、議会運営委員及び特別委員会委員の選任などを行いました。

永年勤続議員表彰

平成26年5月28日に東京で開催された第90回全国市議会議長会定期総会において、次の議員が表彰されました。

【議員在職15年以上】

小田 彰彦
宇都宮 和子



蒼風会



中島 武文
① 小寺 (30歳)
② 1回



城崎 雅文
① 溝尻 (43歳)
② 1回



星野 和彦
① 松原 (48歳)
② 1回



坂根 栄六
① 須津 (36歳)
② 2回



嶋田 茂雄
① 大島 (63歳)
② 2回



小林 宣明
幹事長
① 日置 (61歳)
② 2回

日本共産党宮津市会議員団



宇都宮 綾
① 木子 (44歳)
② 1回



福井 康喜
① 惣 (69歳)
② 1回



長林 三代
幹事長
① 今福 (56歳)
② 3回



谷口 喜弘
① 中津 (61歳)
② 4回



安達 稔
① 京街道 (68歳)
② 6回



徳本 孝
幹事長
① 住吉 (61歳)
② 6回

市民連合クラブ



河原 末彦
① 宮村 (61歳)
② 2回



北仲 篤
幹事長
① 宮村 (51歳)
② 4回



松浦 登美義
① 滝馬 (55歳)
② 5回



松本 隆
幹事長
① 江尻 (56歳)
② 4回



宮津市議会の会派構成

①住所 ②今回を含む当選回数 ※年齢は平成26年8月20日現在

関係機関の議会議員

機関名	委員名
与謝野町宮津市 中学校組合 議会議員	城崎 雅文 宇都宮 綾 坂根 栄六 小林 宣明 松本 隆 北仲 篤
宮津与謝消防組合 議会議員	中島 武文 星野 和彦 福井 康喜 徳本 良孝 松浦登美義 北仲 篤
宮津与謝環境組合 議会議員	長林 三代 坂根 栄六 安達 稔 松本 隆
京都府後期高齢者 医療広域連合 議会議員	松浦登美義
京都地方税機構 議会議員	嶋田 茂雄

※宮津市議会議席番号順

市議会改選にあたっての各会派の抱負

蒼風会

ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します

先日の宮津市議会議員選挙では皆様のご支援を頂きありがとうございます。ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します。ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します。ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します。

政策の目的や効果、また達成年度を数値化し、絶えず検証して公聴・広報していくことが必要と考えています。

また、市街地と周辺部では、格差が何事においても歴然としています。地域の課題や現状に関して必要十分な情報公開のもとで、市民の皆様の声をきめ細かにお聞きし、市民・市長（行政）・議員（議会）が目標を共有することにより、住みたい、住んでよかつたという宮津になるように努力してまいります。

市民の皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。

ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します。ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します。ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します。ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します。

自民党 宮津新生会

新しい宮津づくりに積極的な議員提案をする

『自民党宮津新生会』は平成8年に誕生した「宮津新生会」を発展的に名称変更いたしました。今期は6月22日執行の「宮津市議会議員一般選挙」で当選した市議会議員の中で、自民党籍を持ち政治信条や価値観など共通点が多く、また宮津市の行財政状況に対する認識と市民生活向上にかける思いや市民の負託に答えるために、より一層の議会改革と議員の能力向上の必要性を強く感じる3人の議員で構成いたしました。我々が議会等を通じて指摘した、新しい借金や返済スケジュールのコントロールつまり「新発債や公債費」の調整等による財政改革の進捗で一

の危機的な状況は脱却したものの「教育施設の耐震化等の整備」「ごみ焼却施設・火葬場等の整備」などの整備費を考えると将来見通しは決して安心できません。そこで、私たち『自民党宮津新生会』は地域の課題解決には安定した市財政運営が必要であり、短期的な施策・戦略と将来を見据えた長期的な施策・戦略に分けて、市民にわかりやすく説明し「市民・行政・議会」が新しい宮津市づくりに力を合わせることに必要と考えます。「市政改革と議会改革」に取り組みことをお約束し、今後とものご指導をよろしくお願い申し上げます。

日本共産党

より良い暮らし、潤いのある地域に

2議席から3議席へと躍進させてくださいました。ご支援を本当にありがとうございます。今後もより良い暮らしに向け、市政運営の転換と協働に尽力してまいります。

今の情勢の中で、集団的自衛権行使容認や秘密保護法、原発問題など、市民の皆さんからの不安や危機感をひしひしと感じます。また、消費税増税や年金額の削減など、暮らしを圧迫する国政への不満が大きくなっています。これらを解消し生活を守るためにも、地方議会から声を上げ、国政を国民主権に転換してまいります。また、より良い暮らし、潤いのある

地域にするために、公約である高すぎる国保税や保育料の引き下げなど福祉サービスの向上に力を尽くして、さらに人口減少を食い止め地域を存続させていくために市民の皆さんと一緒に模索してまいります。

多くの文化人が過ごした宮津、自然豊かな宮津を守り、子供たちが安心して教育を受け、住み続けることができる宮津にするために、歴史から教訓を学び市政運営に反映してまいります。

女性の視点から、農業者・経営者の視点からも厳しい市政チェックを行ってまいります。ご支援をよろしくお願いたします。

公明党

宮津再生を見える形に

市民の皆様の期待を受け、2議席を堅持することができました。大変ありがとうございました。現在、海の京都構想の実施、7月20日には舞鶴若狭自動車道小浜〜敦賀JCTの開通、舞鶴港への大型客船の寄港、伊根・宮津航路も8月より運行、明年には、京都縦貫道の開通、宮津のチャンス到来の時です。こうした環境のもと、宮津市を訪れる方は今後増える傾向にあります。宮津を訪れて宮津のいいものを感じ、宮津を誇りに思えることが望まれます。本来できていなければならぬ観光経済の地元循環の流れを、今着実につくっていくことが宮津の将来的な

発展につながることを確信しています。そうしたことを着実に進めるためにも宮津マルシェ構想の推進による地元で儲ける取り組みを着実に実施していき地元経済の活性化に努め、宮津の魅力、付加価値もつけてリーダーの広がりを進めてまいります。また、高齢化率も37%といった中で、元気な高齢者づくりへサポート環境の充実を推進。人口減少も、宮津Uターンサポートセンターの充実による若者定住などの推進、限界集落への対応など皆様のお声を聞かせて頂きまことに生かしてまいります。ご支援を心よりお願い申し上げます。

市民運営クラブ

開かれた議会運営と市民参画の推進を

このたびの宮津市議会選挙ではご支援を頂きありがとうございます。選挙中にお聞かせいただいたご意見を市政に反映するとともに、市民目線で行政のチェックを行い、新しい宮津の創造に取り組みたいという共通の思いをもった2名で会派を結成いたしました。

現在の宮津市は少子高齢化の進展と若者の流出による人口減少が最も大きな課題となっています。市民の皆様が安心して住み続けられ、持続可能なまちづくりを進めるため、若者定住の促進、高齢者福祉、地域活性化、環境、防災、教育等について皆様の声をきめ

細やかに聞き、有効な施策に反映できますよう、さらに研鑽に努めてまいります。

また、議会改革にも引き続き取り組んでまいります。積極的な情報公開、議員同士の活発な議論と提案、議会への市民参加等を進めることにより、議会と市政の動きがよく見えるようになり、市民の皆様が主体的に議会と関わり、市民の皆様が主目的に議会と関わり、市民の皆様が最も重要な目的だと考えています。

皆様のご指導とご協力よろしくお願いたします。



一 般 質 問

市政に対する質問・提言 ここが聞きたい!!

6月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

阿蘇海の浄化について

安寿会 松原 護

答弁要旨 阿蘇海に流入する河川の清掃活動等強化する

質問 天橋立の世界遺産登録に向け、阿蘇海に流入する河川の清掃・ゴミ捨て禁止の啓蒙・啓発キャンペーンを実施されたい。

答弁 京都府・与謝野町・関係団体と連携を図り、美しい阿蘇海を一日も早く取り戻せるよう市民の皆さんと一緒に力強く取り組みを進める。

ふるさと納税の更なる推進を

質問 ふるさと納税（ふるさと寄付）を積極的に進めたい。外貨獲得のために次の二点を提案する。①ふるさとと産品送付の充実。②PRの拡大。

答弁 ふるさと産品は、現在11品目から1品を選んでいただいているが、産品の見直しや情報誌等の積極的な活用とともに、手続き等

の事務も改善しながら取り組んでいきたい。

答弁 特に重症化する恐れのある障害の方、知的障害により自らが体調不良を訴えにくい状態にある障害のある方に助成制度を検討したい。

バス運行と利用者の

現状について

公明党 松本 隆

答弁要旨 実態把握と必要な対策を事業者と共に検討する

質問 ①古津地区の高校生徒が通学でバスを利用する場合、伊根郵便局発の通学専用の便は波見までの乗車区間で、それ以降は市街地のキセンバ港館まで通過し乗車できない。また、次の時間帯のバスに乗ろうとすると、与謝線バスが岩滝で合流し、車中が混雑するため古津の学生が乗りきれないこともあり、結局ほかの交通手段で学

校に行かざるを得ない現状にある。状況把握とともにその対策は。②奥波見から養老公民館を結ぶ波見線バスは運行され10年を超えるが、地域住民も年数とともに高齢化が進み、生活状況も変化している。里波見の山手側に住む高齢世帯の方などが、波見のバス停で乗車する際、坂道を5百メートル以上歩かなくてはならない。利用者

の利便向上につながる対応策は。**答弁** ①区間の一部で混雑が発生する状況にあり、宮津高校生が通学するバスも、定員オーバーで乗車不可能ではないが、大変混雑していると聞く。抜本的解決を図るには、ダイヤ増発が必要だが、現在、若干余裕がある宮津高校へ通学する橋北方面からの直通便を岩滝地区内で停車することで、利用者の分散を図る手法が考えられる。推移を見据え必要な対策を事業者と共に検討する。②波見線バスは一定の高い需要があり、対応可能であれば路線の延伸も検討しなければならないが、狭隘な生活道路への乗り入れ、除雪作業やバ

インフルエンザ接種の補助について
質問 65歳以上の方だけでなく障害者（知的障害者含む）にも補助されたい。



阿蘇海に注ぐだんご川



バス時刻表

ス車両の回転場の提供など課題がある。まずは、利用者の実態把握に努めていく。

由良まで200円バス延伸で

高齡化対策を

日本共産党 長林三代

答弁要旨 住民の意向を把握し協議、可能なら運行する

質問 200円バスの社会実験は、半年で1.52倍と好調にスタートした。市職員や関係のみなさんの努力が大きかったことと思う。

ところで、「丹後全域200円バス運行中」と書かれた幟（ぼし）をみるが、由良地域にはバスがない。石浦から丹後由良駅まで2キロ以上あるし、跨線橋のあるKTRは利用しにくい。若者は、帰ってきても宮津の市街地や舞鶴に家を建て由良には住まない傾向がある。過疎高齡化が進み、通院や買い物が増えます困窮になってくる。また、栗田新宮から与謝の海病院まで2度の乗り換えで600円もかかる。

そこで、由良石浦から栗田駅まで200円、栗田駅から与謝の海病院まで200円の区間として、200円バスを延伸してはいかがか。

答弁 平成19年の調査以降、地域の高齡化やNPO法人の送迎事業の状況等の変化をみると、由良地域の公共交通の在り方を再検討する時期に来ていると思う。

住民の意向を聞きながら、どれだけの方が利用されるのか把握した上で、可能かどうか協議することになる。可能であれば運行の方向にもっていきたい。まずは、地域の意向調査を実施する。



丹後全域200円バス運行中！の幟旗

「消滅可能性都市」の脱却と

発展策について

蒼風会 橋本俊次

答弁要旨 宮津ビジョン構想で生産年齢人口増を図る

質問 ①国の有識者等で構成する「日本創生会議」が、全国896の市町村で2040年までに20〜30代の若年女性半減する「消滅可能性都市」に本市も該当。阻止対策を伺う。②財政再建団体から一応脱却したが、道半ばで市保有施設約60カ所の管理再生計画について庁舎・宮津会館・宮津分署等の取り組みを伺う。③パーキングはままとちとマルシェ構想について。6億円近い債権放棄で清算し、市の所有となるが、大きな市民負担であり、有益な使用方を尋ねる。④市長は、3期目の立候補を表明された。2期目の選挙公約（マニフェスト）60項目の検証と達成度を聞く。

③立体駐車場は、宮津マルシェとピタターセンター等の整備で今後のまちづくりを活かしたい。

④公約の「介護施設」「200円バス」など39項目65%達成し、「中学校給食」「広域ごみ処理」など18項目30%を着手した。今後、これらの公約を果たせたい。

答弁 ①このまま若年女性が半減すれば、将来消滅する可能性は高い。子供を生む層（生産年齢人口）の増加を図るため、社会動態対策として雇用、地域経済、自然動態の定住促進と子育て支援等を重点戦略として宮津ビジョン構想に沿って懸命に取り組んでいる。

②公共施設の今後については、管理・運営を整理、分析し判断する。宮津会館は別扱いとして必要最低限の修繕で使用していく。



ペップ・キッズ・ガーデン

2025年を見据えた

介護保険事業計画を

市民連合クラブ 河原末彦

答弁要旨 地域包括ケアシステムを早期に構築したい

質問 いよいよ団塊の世代が75歳以上となる2025年まで、10年余りとなり、高齢者人口もピークとなり、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者が増加、家庭内における介護力が低下するなど、高齢者を取り巻く環境は大きく変化していく。今年度策定する介護保険事業計画は、単に平成27年度からの介護保険料算定のものではなく、団塊の世代が75歳となる2025年を見据えて「高齢者が住み慣れたところで安心して暮らせる仕組みづくり」を、中長期的な視点で明らかにし、当面の施策と段階的に充実していくための方針が求められている。計画に当たっての基本的な考え方を問う。

については、2025年を見据えて、これまで整備した地域資源を活用するとともに、地域包括ケアシステムの構築を実現するため、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策、高齢者の社会参加の推進による生涯現役の実現を基本施策として策定していきたい。

答弁 本市は国全体や他の市町村に比べ超高齢化が進展している状況であり、この10年間で段階的に充実を図るのではなく、早期の対応が求められていると認識している。本市は、これまで、整備の遅れていた特別養護老人ホームや認知症グループホームを整備するとともに、北部に地域包括支援センターを開設し、相談機能の強化、介護福祉人材の確保に努めてきた。計画に

ついては、2025年を見据えて、これまで整備した地域資源を活用するとともに、地域包括ケアシステムの構築を実現するため、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策、高齢者の社会参加の推進による生涯現役の実現を基本施策として策定していきたい。



高齢者の健康体操教室

暮らしの安心サポート事業拡充を

公明党 松浦登美義

答弁要旨 インセンティブ制度引き続き調査・研究

質問 宮津市は、65歳以上人口は、7345人の、37・37%。一人暮らし高齢者の方は1042人おられる。厚生労働省は、医療費が高くなっていることが大きな社会問題にもなっている。65歳以上の高齢者では、医療費の一番多くの32・6%を占めているのが、高血圧とその結果である病気治療費のようである。そうした中、「血圧を測って健康になろう」と専用血圧計(有料)を使って血圧を測り、その計測値は自動送信され、コンピューターに保管されてポイントがもらえる。一定のポイントがたまると商品券に交換でき、地元商店街の活性化にもつながる。本市の取り組みもこうした事業拡充が必要と考えるが伺う。

システムを通じて送信件数平成25年度延べ6144件、数値の高い方など助言・指導している。過去、命が助かったというケースもあり、提案は血圧測定、健康づくりを進める上で一つのツールとして有効かと思うが、現在のpad端末・血圧計の数に限りがあることから、健康づくり制度の推進と併せインセンティブ制度の導入について引き続き調査・研究していく。

その他の質問

・北前船とまちの元気づくりについて

※インセンティブ：目標を達成するための誘因。動機付け。

答弁 暮らしの安心サポート事業は、pad端末を利用した買い物支援と血圧測定を通じた見守りとして平成22年にシステム構築、平成23年度から運用している。血圧の数値は健康状態を確認する上での重要な指標の一つであり、健康意識の向上を図るためにも大切な取り組みと考える。本



血圧計

道州制に賛成するそのメリットは何か

日本共産党 宇都宮和子

【答弁要旨】 アンケートに対し無回答とすべきだった

【質問】 5月5日付新聞で道州制について、市長は賛成の立場を表明した。京都府下で3市のみが賛成し、後は反対か無回答だ。全国町村会は「町村にとって存亡にかかわる危機が差し迫っている」と、平成20年から反対し続けている。道州制とは約10の自治体を道・州にし、今ある1700の自治体を300程度にまとめ上げ、国は外交や防



宮津市街地

衛などを専権事項にするというつもりだ。また財界も道州制を2018年までに実現させ行政の効率化を図り、公務員を減らし数兆円の財源が確保できると考えている。その財源を国際空港、港湾、都市高速道路にあてると「提言」している。選択と集中によって切り捨てられるのは宮津ではないか。道州制に賛成するそのメリットは何か。

【答弁】 道州制の議論は、基礎自治体の事務分担や財源配分、また道州と基礎自治体の権能拡大に伴う基盤強化が担保されず、慎重に議論すべき。特に相当地規模で設置されることから、住民との距離が遠く離れ、州内での一極集中が進み、住民の距離が遠く離れた地域の切り捨てを懸念。こうした課題や懸念がある間は道州制について判断できない。新聞社のアンケートに対しては無回答とすべきだったと思っている。

【質問】 賛成から無回答と方向転換をしたのなら、住民に広く周知すべきでは。
【答弁】 無回答に方向転換したことについては周知しない。

9月定例会の予定 (会期8月28日～10月7日)

- 8月28日(木) 請願・意見書締切 (正午まで)
- 29日(金) 議会運営委員会
- 9月 3日(水) 本会議 (提案理由説明等)
- 10日(水) 本会議 (一般質問)
- 11日(木) 本会議 (一般質問)
- 12日(金) 本会議 (質疑～委員会付託)
予算決算委員会 (本会議終了後)
- 16日(火) 総務文教・産業建設福祉委員会
総務文教・産業建設福祉分科会 (委員会終了後)
- 17日(水)～19日(金)
総務文教・産業建設福祉分科会
- 22日(月) 総務文教・産業建設福祉分科会
- 24日(水) 総務文教・産業建設福祉分科会 (予備日)
- 30日(火) 予算決算委員会
- 10月 3日(金) 議会運営委員会
- 7日(火) 本会議 (委員長報告～採決)

※開議時刻10:00 (9/16は14:00～)

- ・この日程は予定であり、変更となる場合があります。
- ・一般質問の質問者及び質問事項等については、一般質問日の約1週間前に市議会ホームページで確認することができます。

インターネット検索

宮津市議会

検索

クリック

議 会 報 告 会

宮津市議会は、議会活動について報告するとともに、市民のみなさんとの意見交換により、議会機能の強化と活性化を図ることを目的に、4月下旬に自治連等を単位に議会報告会を開催し、6地区で、68人の参加がありました。

平成26年3月の議会の審議内容と議決状況の報告、議会に対する質問や意見、また有害鳥獣対策など地域が抱える問題、宮津マルシェ推進事業など市が行う事業について、ご意見やご要望がありました。ご質問等に対する回答は、自治連を通して、各地区公民館に文書配布しましたので、ご覧ください。市役所市民ホール、情報公開コーナー（別館1F）でも閲覧していただけます。

また、ご要望があれば送付もさせていただきます。

次回の報告会は、秋に予定しています。この会場でも参加できますので、ぜひご参加ください。



今回の開催日・場所・参加人数

開催日	場 所	参加人員
4月22日	(1班) 世屋高原休憩所	5人
4月22日	(2班) 上宮津地区公民館	13人
4月22日	(2班) 栗田区民センター	10人
4月28日	(3班) 養老地区公民館	10人
4月30日	(1班) 魚屋会館	18人
	(3班) 由良の里センター	12人

班編成

班	班 員
1 班	◎坂根 栄六 木内 利明 ○北仲 篤 長林 三代 嶋田 茂雄 松浦登美義
2 班	◎松本 隆 松原 護 ○河原 末彦 徳本 良孝 橋本 俊次
3 班	◎小林 宣明 安達 稔 ○宇都宮和子 谷口 喜弘 小田 彰彦

◎班長 ○副班長

議会改革特別委員会

予算決算委員会を設置

市議会では、「開かれた議会」や「政策提案・監視機能の強化」を目指して議会改革に取り組んでおり、予算・決算に対するチェック機能を強化する観点から、議長を除く議員全員で構成する予算決算委員会を設置しました。

これまでは、総務文教委員会と産業建設福祉委員会に分割付託していましたが、予算・決算に関する議案は予算決算委員会に一括付託されることになり、一体的な審査・調査が可能となります。

また、決算審査を前倒し実施することとし、これにより審査結果を翌年度の予算編成に反映させることができます。

一問一答方式を導入

12月定例会から、一般質問に一問一答方式を導入します。

従来の一括質問・一括答弁方式と一問一答方式のいずれかを議員が選択し質問します。

一問一答方式は、一つの質問に対してすぐに答弁があるので、市民の方にとっても分かりやすいものです。

今後の市議会に

「」期待ください！



平成25年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは、自治体が議員の調査研究に必要な経費の一部として、条例により交付できる経費です。本市の場合、議員1人当たり年額12万円を議会会派に交付しています。なお、残額は宮津市に返還します。

	蒼風会 (4人)	市民連合 クラブ (3人)	安寿会 (2人)	公明党 (2人)	日本共産党 宮津市議会 議員団 (2人)	宮津 新生会 (2人)	無会派 (1人)	計 (16人)	
所属議員名	橋本 俊次 小田 彰彦 嶋田 茂雄 小林 宣明	木内 利明 河原 末彦 北仲 篤	安達 稔 松原 護	松本 隆 松浦登美義	宇都宮和子 長林 三代	徳本 良孝 谷口 喜弘	坂根 栄六		
政務活動費交付額	480,000	360,000	240,000	240,000	240,000	240,000	120,000	1,920,000	
支出額	460,776	319,445	187,510	170,115	332,580	212,045	55,028	1,737,499	
返還金	19,224	40,555	52,490	69,885	0	27,955	64,972	275,081	
支出 内訳	調査研究費	404,076	271,930	187,510	170,115	90,051	187,800	55,028	1,366,510
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	56,700	0	0	0	103,729	0	0	160,429
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	24,245	0	24,245
	資料購入費	0	47,515	0	0	138,800	0	0	186,315
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	

主な支出内容

会派	支出内容	
蒼風会	・調査研究	北海道赤平市 赤平地域まると元気アッププログラム
		北海道富良野市 「フランマルシェの奇跡」とまちづくりについて
		北海道美唄市 財政健全化計画について
市民連合 クラブ	・調査研究	福島県南相馬市 原子力災害の実態と復興について
		福島県会津若松市 議会からの政策形成について
安寿会	・調査研究	熊本市荒尾市 「万田坑」の世界文化遺産国内推薦候補決定までの経過等について
		長崎県雲仙市 雲仙市オーリーブ協議会の取り組み状況について
		天草キリシタン館 キリシタン文化と観光振興について
		長崎県大村市 歴史を生かした観光振興について
公明党	・調査研究	秋田県横手市 定住促進施策について
		青森県平川市 中小企業支援制度について
		「ひらかわ推奨品」制度について
日本共産党 宮津市議会 議員団	・調査研究	NPO法人ドリーム・プラネット 障害者就労支援について
		島根県海士町 UIターン、地域再生の取り組みについて
		島根県大田市 世界遺産登録に向けての取り組みについて
	・広報費	議会報告折込印刷
・資料購入費	法規資料ほか	
宮津新生会	・調査研究	安寿会と同じ
		・資料作成費
無会派	・調査研究	宮崎県日南市 食堂のヘルシーメニューと健康増進について
		テナントミックスサポートマネージャーとマーケティング推進室の取り組みについて
		鹿児島県志布志市 ヨコミネ式教育法とその導入について

※収支報告書（視察報告書含む）は、情報公開コーナー（別館1F）、議会図書室で閲覧していただけます。

平成26年度 政務活動費収支報告 (4～7月分)

	蒼風会 (4人)	市民連合 クラブ (3人)	安寿会 (2人)	公明党 (2人)	日本共産党 宮津市議会 議員団 (2人)	宮津 新生会 (2人)	無党派 (1人)	計 (16人)
所属議員名	橋本 俊次 小田 彰彦 嶋田 茂雄 小林 宣明	木内 利明 河原 末彦 北仲 篤	安達 稔 松原	松本 隆 松浦登美義	宇都宮和子 長林 三代	徳本 良孝 谷口 喜弘	坂根 栄六	
政務活動費交付額	160,000	120,000	80,000	80,000	80,000	80,000	40,000	640,000
支出額	0	37,778	0	0	81,329	0	0	119,107
返還金	160,000	82,222	80,000	80,000	0	80,000	40,000	522,222
支 出 内 訳	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0
	研修費	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	0	0	0	0	27,400	0	27,400
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	37,778	0	0	53,929	0	91,707
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	

主な支出内容

会派	支 出 内 容	
市民連合クラブ	・資料購入費	図書購入
日本共産党 宮津市議会議員団	・広報費 ・資料購入費	議会報告折込印刷 法規資料ほか

議長交際費

議長交際費とは、議長が市議会を代表して外部と交際する場合に支出するものです。
平成25年度の執行状況は下記のとおりです。

区分	件数	支出額	主な支出内容
祝金	3	11,542円	大江山スキー場開き祝酒など
会費	13	85,000円	宮津ニュージージーランド協会総会懇親会会費、(社)天橋立観光協会総会懇親会会費など
賛助	1	5,000円	原水爆禁止2013世界大会賛助金
計	17	101,542円	

詳しくは、ホームページをご覧ください。



表紙写真を募集します！

宮津市議会では、議会だよりを年4回（5月、8月、11月、2月）発行しています。本紙の表紙に掲載する写真を募集します。

- 募集内容 地域の取り組みや行事など、地域の魅力を紹介できる写真
- 応募規定 応募者が撮影し、被写体の承諾を得たもの。
- 規格など 現像写真またはデジタルデータ
- 紙面への掲載 写真は白黒で、タイトルと応募者の氏名を掲載します。
- 応募方法 ①タイトル②住所③氏名④電話番号を明記の上、議会事務局までご応募ください。
- 選考 議会情報化委員会で行います。
- 注意事項 応募写真は原則返却しません。
- 応募・問合せ先 〒626-8501(住所記入不要)
宮津市議会事務局
☎ 0772-45-1639 (直通)
e-mail : gikai@city.miyazu.kyoto.jp

あ と が き

今、全国で議員の不祥事が相次ぎ地方議会のあり方が問われています。宮津市議会では、平成23年度に「宮津市議会基本条例」を制定し、開かれた議会を目指し日々努力をしているところですが、より一層気を引きしめて市民の皆様に寄り添った議会となれるよう努力してまいります。

さて、6月22日に宮津市議会議員選挙が行われ新人5名を含む16名が選ばれました。改選後の初議会を終え新たな議会構成も決まり、この「議会だより」を編集しています「議会情報化等特別委員会」も「議会情報化委員会」と名称を変え常任委員会となりました。この機会をとらえ、委員一人一人が「議会だより」の意義をしっかりと理解し、宮津市議会の活動をよりわかりやすく正確に伝え、また読みやすく市民の皆様に親しまれる紙面作りを目指していく所存です。